



私たちのキーワード

シェアでお得にドアツードア
そして、環境にやさしく

株式会社NearMe

電車、バス、タクシーに次ぐ 「第4の公共交通機関」の実現を目指して

テーマ

ICTを活用した交通ラストワンマイルの 利便性向上による都市と地域の活性化事業

事業内容

世の中に溢れる「もったいない」を見直し、解決すべく2017年に設立。創業以来、サステナブルで生き生きとした未来を実現するためのサービスの開発、運用に取り組んでいます。2018年にはタクシー相乗りアプリ「nearMe.」(ニアミー)をリリース。以降さまざまな利用シーンに合わせた移動のシェアサービスを拡大。2019年開始の相乗り空港送迎シャトルを軸に、第4の交通機関確立を目指しています。



代表：高原 幸一郎さん

深夜のタクシー乗り場にできた行列が システム開発のきっかけに

ニアミーが目指すのは、社会のあらゆる「もったいない」を、地域資産と人々のニーズをマッチングするプラットフォームを提供することで解決し、サステナブルで生き生きとした未来を実現すること。今いる場所からの移動をリアルタイムにマッチングしたり、地域の良いモノ・コトが発見できるプラットフォームを作り、地域活性化に貢献することです。起業のきっかけになったのは代表の高原さんの経験。以前住んでいた家へは駅からバスを利用して帰宅していましたが、バスの最終を逃すとタクシー乗り場には長い行列が。時間もお金もかかってしまいます。この「もったいない」を解決したいという思いが、タクシー利用者同士をマッチングするアプリ「nearMe.」(ニアミー)開発の原点になりました。そして、シェアでお得にドアツードアで移動できる「スマートシャトル」の実現化を進めたのです。



自宅・ホテルと全国の空港をつなぐドアツードアの送迎サービスのランディングページ。ニアミーは、さまざまな社会課題がある中、まずは移動の問題から取り組みを開始。人のために、地球のために移動をシェアすることを提案しています。

住みたい街にだれもが住み続けられる 未来の移動体験づくりへ

本事業の支援を知ったのは知人から。「内容を聞いたところニアミーの取り組み内容にフィット感があり、支援を受けたいと思いました」(高原さん)。支援を活用して取り組んだのが「スマートシャトル」システム全体の機能改修。インターネットとリアルタイム位置情報を活用したドアツードアの目的地移動や、地域の資産やコンテンツと人の瞬間的ニーズをマッチングする地域活性化プラットフォーム事業の提供を強化・拡大しました。「支援期間中は、主軸の空港送迎サービスの改修を進めるのと並行して、複数の実証実験やドライバーアプリの開発が重なり、リリースタイミングのコントロールに苦労しました」と高原さんは振り返ります。将来の目標はスマートシャトルを電車、バス、タクシーに次ぐ「第4の公共交通機関」に育てていくこと。住みたい街に住み続けられる未来の移動体験づくりに邁進しています。



「スマートシャトル」サービスの紹介画像。乗り換えや荷物を持ち歩く必要なし。AIが最適化するルートを導き、各地域のプロドライバーが運行します。申し込みも簡単。単独で利用するタクシーよりもお得な新しい移動手段として注目されています。

会社概要

■所在地：東京都中央区日本橋富沢町9番4号
■URL：https://nearme.jp ■代表：高原 幸一郎 ■設立：2017年7月 ■資本金：1億円